



野生植物研究所だより



● あじ朗志組・島の大掃除大作戦 ●

さる6月10日、石巻市網地島で「あじ朗志組・島の大掃除大作戦」というイベントが開催されました。あじ朗志組とは、網地島の網地浜集落の雑用引き受け隊です。網地浜の住人の平均年齢は70歳を超えていますが、その中で比較的元気な5人がメンバーとなっており、海岸の掃除、草刈、消毒等の雑役をこなしています。毎年恒例となりました「島の大掃除大作戦」には島外からのボランティアも多数参加しております。当研究所所長も昨年に引き続き参加してまいりました。午後2時、網地生活センターで結成式があり、午後2時45分から4時30分頃まで栗ヶ崎海岸線の倒木の撤去や白浜の清掃活動等を行いました。

翌日、宿泊所の北側の植物を見てまわりました。ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマナス、ニッコウキスゲ、スイカズラ、トベラ、ハマボッス等の花がきれいに咲いていました。



ハマヒルガオ



ハマエンドウ



ハマナス



ニッコウキスゲ



ハマボッス

● 「黒松とタブノキの植林」 問題は松だけなのに・・・ ●

今回のイベントを通して、島のマツ枯れに対してのクロマツやタブノキの植林等で、だいぶ問題と思われる点がありましたので報告いたします。

昨年に引き続き、島の海岸沿いに昔あった林道が荒れて歩くことのできない状態になった所を整備し、散歩道、サイクリング道、アワビ等の密猟等の監視にも役立つ道路にするということで、林道造りの手伝いをいたしました。その場所は、アカマツやクロマツがほとんど松食い虫にやられて立ち枯れの状態であったものの、タブノキ、ヒサカキ、オオバイボタ、サンショウ、ガマズミ等の木や、チゴユリ、オオバジャノヒゲ、オオマムシグサ、ウラシマソウ等、様々な種類の草でおおわれた状態になっていたところですが、今回そこに行って、何ヘクタールもあると思われるその場所の様子があまにも変わってしまったこと大変驚いてしまいました。枯れた松が積み重ねられ、風よけの塀が立っていました。また、周囲にあった草木が根こそぎ、機械によって削り取られ、そこには、1列ごとにクロマツとタブノキが植林され、目印の竹が1本1本立てられていました。その場所は沢山のタブノキをはじめ、様々な種類の草木が生えていたのに・・・大雨が降れば、多くの土砂が海に流される状態に思われました。また、削り取られた場所には大変貴重な植物もあったものと思われます。



海はすぐそこ・・・



整地された状態



問題は松だけなのに・・・

右下の写真を見てください。松が立ち枯れているものもあれば、倒木になっているものもありますが、その他の樹木はみな樹勢も良い状態です。問題なのは松だけなのです。また、この写真のような状態の所でもクロマツやアカマツが元気に育っているものもあるのです。写真と同じ状態の林の植物を調べてみました。次のような種類が見られました。メモした順に記しますと、オオバイボタ、タブノキ、トベラ、ヒサカキ、クマイチゴ、ミツバアケビ、ヤマユリ、ウラシマソウ、ヨモギ、オオノアザミ、サルトリイバラ、ヤマハギ、ナルコユリ、テリハノイバラ、マサキ、サンカクヅル、アキカラマツ、ガマズミ、サンショウ、オオバジャノヒゲ、ヤマノイモ、オオシマザクラ、アオキ、クズ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、ツリガネニンジン、ホタルカズラ、オカトラノオ、イヌザンショウ、ヤマグワ、モミジイチゴ、チゴユリ、ヤマボウシ、ヒヨドリバナ、ラセイタソウ、スカシユリ、ノコンギク、ノブドウ、ドクウツギ、オトコヨモギ、カセンソウ、ドクダミ・・・直線で50mほど歩き、メモをしたものです。タブノキは100本以上もありました。このような状態のものを伐採し、ブルをかけ裸地状態にしているのです。そして、そこに新たにクロマツとタブノキを植林しているのです。

この事業はまだ半分も終わっていないようにも聞いています。まだ手を付けていない所、なんとかならないものかと思っています。

【連絡先】 〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字寶ノ子町 12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/> E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>